

平成30年度

授業改善推進プラン

全体計画及び各教科

府中市立府中第八中学校



< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組んでいる。 ・自分の考えを表現している。 ・「話すこと」の経験が豊富である。 ・自らよく調べる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少ない。 ・文章を正確に読み取ること。 ・構成を意識して文章を書くこと。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>語彙を豊富にし、文章表現を工夫できるようにする。そして、理解したことを言葉で表現できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・読むこと ・書くこと ・言語に関する知識・理解・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを配布し、単元の取組の過程を可視化する。 ・言葉や表現に着目させ、どう読み取ったのかを自分の言葉で表現させる。 ・伝える目的、伝える相手を明確にし、構成を考えさせる。また、言葉、表現を適切に選択させる。 ・漢字練習、語句の意味調べを行う。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、発言、課題に対して意欲的。 ・話し合い、発表に前向きな人が授業を支えている。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字、語彙等の基礎力の不足があると、いろいろな活動に影響する。 ・長い話を集中して聞くこと。 ・書き言葉で表現すること。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲を高める課題を設定する。 ・言語に関する知識・理解・技能を定着させる取り組みを継続して進める。 ・書くこと、読むこと、話すことの力をのばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に目標設定をさせ、単元取り組みの過程・結果を可視化する。発表、話し合いを生かして相互に学ぶ機会を作る。 ・漢字のミニテストを行い、事前の練習、振り返りを促す。 ・読書等を通し、様々な種類の文章に触れさせる。授業での課題の到達目標を提示し、取り組みの方法を示す。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に意欲的に取り組む生徒が多い。 ・班やクラス単位での話し合い活動を円滑に進めることができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き及び意味の理解が正確でない場合がある。 ・文章の主題や要旨の読み取りがやや苦手である。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国語への関心・意欲・態度」今の良い状態を継続させたい。 ・「読む力」文章の内容を正確に読み取る力を付けさせたい。 ・「言語についての知識・理解・技能」漢字の読み書きや意味の理解を正確にできる力を付けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味を持ち、意欲的に取り組むことができる教材、課題の設定を行う。 ・読書の推進など、さまざまな種類の文章に触れる機会を増やし、感想を書かせたり、発表・話し合いをさせたりする。 ・漢字の学習や小テストをスモールステップで実施し、漢字の読み書きの習得を図る。又、短い文や、文章を書く場面を増やす。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する学習意欲が高く、課題に対して主体的に取り組むことができる。 ・自分の考えがしっかり書ける。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な思考・判断・表現」の部分では、複数の資料や知識を活用して考え、説明することが苦手な生徒が多い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識を習得する。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図、統計資料、写真などから情報を読み取る力を身に付ける。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技能や経験を活用して、自分の言葉で概念を形成する力と応用力を身に付ける。 	<p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解を確実に定着させるために繰り返し学習を徹底する。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で様々な資料を読み取る場面を多く設ける。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して自分で考察し、論理的に説明するような課題解決の過程を重視した授業展開を行う。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言する姿勢。 ・黙々と課題に取り組む姿勢。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを相手に伝えること。 ・情報を整理し要点をまとめること。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「社会的な思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを相手に伝える力。 ・情報を整理し要点をまとめる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で情報を得て、それを整理し、発表する機会をつくる。発表について適切に評価する。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組むことができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現する力が十分に伸びていない。 ・資料の読み取りや表現の力が十分に伸びていない。 ・既習内容の応用力が十分に伸びていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識の定着を図る。 <p>【社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・考え方を活用して、新たな学習課題に取り組む力を育てる。 ・地図・統計・写真などの資料を用いて、情報を読み取り、自分の言葉で説明できる力を高める。 	<p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント課題を活用して、用語や知識を定着させる。 <p>【社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、既習の学習内容を振り返り、学習中の内容との関連性に気付かせる。 ・様々な資料を読み取る。 ・プリント課題やワークを活用して、自分の考えをまとめる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身につけている生徒が多い。 授業に対する姿勢は真面目な生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習が身につけていない。 数学的な見方・考え方の観点の達成率が低く、問題文を読み取る力に課題がある。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能。 数学的な見方・考え方。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。授業で解いた問題の類題を宿題とし、取り組みやすいようにする。 1つの問題をじっくりと考える時間を設定し、話し合い活動なども取り入れながら問題の意図を読み取れるように工夫する。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業にまじめに取り組み、課題に対しても意欲的である。 家庭学習の習慣が身に付きつつある。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算問題が定着していない生徒がいる。用語の意味を理解していない。 途中の計算過程をかけない生徒がいる。そのため、計算ミスが多い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能。 数学的な見方・考え方。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントやワークを活用し、反復練習を行わせる。計算や文章題の途中の過程を書くよう指導する。 単元テストを実施し、理解が不十分な生徒に対し補習等を行う。 定期考査前、夏季休業中に学習会を実施する。 論理的な思考力や表現力を必要とする問題は、既習事項を再確認させ、問題を解くヒントを与え、思考の道筋を段階的に示すようにする。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。 基本的な計算力(正負の計算・文字式)は身に付いている。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の不足から、授業中に理解したことが定着できていない生徒がいる。 読解力が弱く、問題文が読み取れない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能。 数学的な見方や考え方。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、計算の反復練習を行わせる。 小テストを実施する。 単元ごとにまとめプリントを用いて、定着できていない箇所を確認し復習させる。 文章を式で表したり、式の意味を説明したりする機会を授業の中で増やす。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に積極的に取り組むことができ、全体を通して学習に真面目に取り組むことができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間が短く、学習内容の定着に課題がある。 ・科学的な思考・表現を苦手とする生徒が多い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「科学的な思考・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の方法を目的に応じて組み立てられる。 ・実験・観察方法を実験結果から自分なりに考察し、筋道をたてて自分の言葉で説明することができる。 <p>「自然現象への知識・理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通して基礎・基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察では、生徒に目的に応じた実験・観察方法を考えさせ、実験結果から論理的に説明する場を数多く設定する。 ・基礎・基本の定着のために振り返りの時間を取り入れる。 ・身近な自然現象や他教科の授業で学んだことを結び付けて、日常的な経験や学習内容について科学的に捉えられるようにする。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や学習に対する意欲が高く、新たな提示をしても素直に吸収することができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に思考問題が苦手な生徒が多い。 ・個人の文章読解力や数学的解決能力、考察力の差が大きい。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「科学的な思考力・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験データを分析して、自分の言葉で原理・法則を導き出す能力と応用力を養う。 <p>「実験・観察の技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を重視しつつ、より早くて正確な実験操作の習熟とデータの記録・処理方法を身に付けさせるとともに、主体的に工夫しながら実験を推進できる能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探求の過程を重視した授業展開の推進をベースに、実験・観察を通して実験結果から必ず自分なりに考察・筋道をたてて説明する場を数多く設定するとともに、発展的な学習内容を提示し、応用力を高める工夫をする。 ・できるだけ実験回数を増やし、実験操作の習熟の向上、実験解説の徹底とデータ整理時の個に応じた指導にも力を入れる。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が授業に対して真面目に取り組める。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な思考・表現を苦手とする生徒が多い。(観察・実験データを論理的に考察できない。) ・自然現象への知識・理解が不足している。(基礎・基本の定着不足。) ・観察・実験の技能が不十分である。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「科学的な思考・表現」の力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験データの読み取り方を理解する。 ・論理的な考察方法を理解する。 ・論理を、自らの言葉で思考・判断し表現する。 <p>「自然現象への知識・理解」の力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通して基礎・基本の定着を図る。 ・授業プリントを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの工夫 「仮説を立て見通しを持った観察・実験を行う内容」、「基礎的な思考から論理的な思考へ発展できる内容」、「思考の過程を自らの言葉で文章として表現できる内容」、「復習的な内容」、「本時の学習が理解できる学習ポイントとしての内容」を意識的に取り入れる。 ・観察・実験時、丁寧な説明と具体的な操作方法を示す。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に真面目に取り組み楽しんで歌唱活動ができる。積極的に発言できる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声が身に付いていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声を身に付けさせ、男子は変声期を上手に乗り越えさせて歌うことへの抵抗をなくす。 ・表現をどのように工夫するかを言語化して伝えあえる力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声のメカニズムを理解させ、正しい発声を身に付けることに意欲を持たせる。 ・パート練習で表現の工夫について話し合いをさせて意見を出し合えるようにする。 ・鑑賞を通して歌唱の素晴らしさを味わわせる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直に学び、楽しんで歌唱活動に励むことができる。 ・前向きな姿勢の生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学び（知識）を生かしてきていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現や鑑賞の解釈について言語能力を高めていきたい。主体的に学習を進められる力を付けさせ、話し合いを深めて創意工夫する力を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートでの話し合いや発表を通して楽譜への書き込みを定着させる。多くの曲に触れさせ、表現したいことが自分で理解できるようにしていく。 ・合唱コンクールではクラスで一つのものを作り上げるよこびを感じさせ、達成感を味わえるようにする。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動に楽しみながら熱心に取り組める。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中できない生徒が少しいる。 ・筆記テストに対して努力ができていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の合唱コンクールで自分たちの力で曲を創り上げる喜びを感じ、合唱の良さを感じさせる。 ・音楽を聴くことや演奏することが生活の中の楽しみになることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習を通して表現の工夫をどのようにするのか意見を出し合い、全体で発表させる。 ・良い音楽に触れる機会を作り、音楽の良さに気付かせる。

<教科名：美術　　>

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して取り組み、より良い作品を作ろうと前向きに励む生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・描く対象への観察力が不足している。 ・作品に自分のアイデアがなかなか出せない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現する対象の観察をもとに特徴や原理を発見する力を高める。 ・表現する対象の特徴や発見した原理をもとに、表現するための具体的な方法を見つけ出す力を高める。 ・具体的な表現方法に適した用具及び使い方を見つけ出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を示したり、観察するポイントを指摘して、表現する対象の特徴や原理についての気づきを促す。 ・何を用い、どのようにやれば、対象の特徴や発見した原理を表現できるかを考えさせ、用具や方法を具現化させる。 ・作品の制作を通して、その表現効果を確かめさせる。

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら造形活動に取り組むことができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物や私語など、意欲に欠ける生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・版画の一つである孔版(=シルクスクリーン)の原理を理解し、自分の作品制作に生かせるようにさせる。 ・授業に必要な用具を忘れると、制作が進まず、作品が完成できなくなることをよく理解させる。 ・制作進行の楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルクスクリーンの製版のうち、コピーの適切な色分解を理解させる。 ・製版の過程である原画の色分解やカッティングおよび印刷を適切にさせるため、制作途中の内容が妥当かどうかを確認する。 ・忘れ物の点検を励行する。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に、地道に取り組む生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作進度の個人差が大きい。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原画をよく観察し、下描きで忠実に写し取る力を高める。 ・下描きをもとに、絵具で忠実に色彩やタッチを再現する力を高める。 ・原画の持っている魅力を十分感じ取れる力を高める。 ・放課後に補習をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助線を活用して見比べ、形や配置の精度を上げる。 ・絵を逆さにするなど、普段と違う角度で見比べる。 ・混色カードを用いて、色の再現の参考にする。 ・絵の良さを捉え、言葉や文で言語化する。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的な生徒が多く、何事にも前向きに取り組める。 ・記録への向上心が高い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な生徒との差が大きい。 ・巧みな動き、投げる力、持久力が不足している。 ・特定の生徒の忘れ物が目立つ。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に親しむ。 ・考えたことを運動につなげていく。 ・基礎運動能力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物チェックと同時に決まりを守って授業を受けるよう日々の授業で指導していく。 ・学習カードの改善・活用を図る。 ・各運動種目に関連した基礎運動の工夫を図る。

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <p>基礎体力が男女とも高い。</p> <p>＜弱み＞</p> <p>思考しながら運動ができない生徒が多い。</p>	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に考えながら運動する習慣を育成する。 ・真面目に継続した努力ができる習慣を育成する。 	<p>考える場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は種目により、個人活動、グループ活動を導入する。 ・考える時間を確保する。（個人・グループ） ・授業ノートでの振り返りを行う。

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に前向きに取り組める。 ・男女で協力して学習に取り組める。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を考えて、学習を工夫する力に欠ける。 ・集団の中で話を聞く力に欠ける。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで課題を見つけ、友達と協力しながら課題解決に向けて、練習や学習に取り組める力。 ・学習カードやステップアップ等を活用する力。 ・集団に対する指示をしっかりと聞き、対応できる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに教員に聞くのではなく、学習カードやステップアップを参考に自分で考え、工夫するよう促す。調べる癖を付けさせる。 ・話のポイントを復唱させる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する関心・意欲が高い。 ・集中して作業に取り組むことができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能の定着ができていない生徒がいる。 ・作業を見通し、順序立てて取り組むことを苦手とする生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に、順序立てて作業に取り組める力を育てる。 ・基本的な技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを示すだけでなく、必要な作業を理解できるように提示し、見通しを立てさせる。また、実習カード等を活用し、生徒が自分で計画的に取り組めるよう工夫する。 ・基礎・基本の内容は、実習時には毎時間確認するなど、短時間でも繰り返し確認する時間を設定する。小テスト等も活用していく。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や作業への関心・意欲が高い。 ・技能の向上を目指して自分なりに努力したり、目標を持って作業をすることができる生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活での経験不足により、作業効率が悪く、工夫して活動ができない。 ・個別の対応が必要な生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で工夫し、計画的に作業に取り組める力を育てる。 ・実生活における技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能チェックやテストを行い、技能の向上を図る。 ・班活動による学び合いを多く取り入れ、お互いに教え合わせる。 ・準備、後片付けを徹底させ、安全管理の意識を高める。 ・個人カードを使って作業の進捗や計画を管理し見通しを持たせる。 ・長期休業等を活用して、家庭生活での課題に取り組ませる。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命授業や作業に取り組むことができる。 ・基礎的な技能が定着してきている。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫して作業効率を上げることが苦手な生徒が多く、進捗やできばえに個人差が生まれる。 ・考えを深め、自分なりに表現することが苦手である。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを深め、表現や実践する力を身に付けさせる。 ・見通しをもち、計画的に作業する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から応用まで生かせる作品作りを通して、技能の定着を図る。 ・作業が苦手な生徒に対し、個別の対応を工夫する。 ・レポートを書いたり、意見をまとめるワークシートや、発表を授業に取り入れる。 ・自分の意見をじっくり考えさせる授業を行う。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> リスニングの能力が高く、シンプルな英語での指示や発問に答えながら授業を展開することができる。 発表が好きで、英語で話すことをためらわない生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を見て発音することを難しく感じている。 自分の言いたいことを英語で表現する力が不足している。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 文字と音声の一致・・・文字を見ただけで発音できる力。 基本的な文法を理解し、自分の言いたいことを表現できる力。 語彙を増やし、表現力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で文字と音の基本的なルールを覚える活動を Active Phonics を使って行う。 単語や英文を書く練習を意図的に多く入れる。宿題を毎時間出して定着させる。 教師が授業の中で英語を多く使うことで、語彙のインプットを増やす。写真や絵を使って生徒とやりとりしながら語彙を増やしていく。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を聞いて理解する能力が高く、英語での指示や発問に答えながら授業に参加することができる。 発表が得意で、英語で話すことが上手な生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りのことや、自分の考えを適切な英語を使って表現することが苦手である。 英語の読解力が不足している。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の文法事項をふまえて、英語で自分の意見を表現する力を育てる。 100語以上の語から成る英文を読んで、情報をまとめて内容を理解する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住む町について英語で紹介する活動を通して、英語で表現する力を養う。 スキット作成、発表を通して身近なことを英語でやりとりをする練習をする。 読み物教材を用いて、決められた時間内で速読し、内容を理解する力を養う。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した表現を用いて、英文で表現しようとする姿勢が見られる。 80～100語の英文を読み、ある程度の内容を理解できる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい綴りで英語を書くこと。 200語以上の一定の長い英文を読み・聞き、内容を理解すること。 英語を話す際の表現力（アイコンタクト、抑揚、リズム等） 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 正確な綴りを用いて、自分の考えや気持ちを英語で書く力を育てる。 スピーチなどで意見を人に伝える時の表現力を育てる。 200語以上の一定の長さの英文を読んだり聞いたりして、内容を理解する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ディクテーションに加えて、帯活動の中で、ライティング活動を増やす。(Ex. A or B で3文以上意見を書く) スピーチ形式の多様化（ポスターセッションなど）を図る。 “読みトレ”等の教材を用いて英文を読む活動を継続する。教科書の内容を終えた後は、実践的なテスト問題を実施して長文に触れる機会を増やす。